

カルスト通信

も り

森林のたより



Karst
correspondence
2021
vol.44



カルスト森林組合

令和2年度 貸借対照表 (令和3年5月31日現在)		(単位:円)	
▼資産の部▼		▼負債の部▼	
流動資産合計	372,659,681	流動負債合計	52,358,499
固定資産		固定負債合計	54,509,005
有形固定資産計	32,516,728	負債合計	106,867,504
無形固定資産計	19,375,398	▼純資産の部▼	
外部出資計	57,149,000	出資金合計	155,980,500
その他の固定資産計	0	利益剰余金合計	218,796,803
固定資産合計	109,041,126	資本準備金合計	56,000
繰延資産合計		組合員資本/純資産合計	374,833,303
資産合計		負債及び純資産合計	481,700,807

損益計算書 (令和2年6月1日～令和3年5月31日)						(単位:円)	
科 目	計	指 導	販 売	加 工	森林整備		
I 事業総損益							
1.事業総収益	437,112,828	0	21,073,500	0	416,039,328		
2.事業総費用	250,123,710	2,300,042	21,463,713	0	226,359,955		
事業総利益	186,989,118	△2,300,042	△390,213	0	189,679,373		
II 事業損益							
1.人件費	134,808,729	1,154,229	970,800	0	132,683,700		
2.旅費・交通費	414,256	2,506	9,992	0	401,758		
3.事務費	2,549,716	15,426	61,499	0	2,472,791		
4.業務費	1,614,210	9,766	38,935	0	1,565,509		
5.諸税負担金	16,177,352	5,993	388,375	0	15,782,984		
6.施設費	17,723,694	107,228	427,495	0	17,188,971		
7.雑 費	512,035	3,098	12,350	0	496,587		
事業管理費計	173,799,992	1,298,246	1,909,446	0	170,592,300		
事業利益	13,189,126	△3,598,288	△2,299,659	0	19,087,073		
III 経常損益							
1.事業外収益	3,960,008						
2.事業外費用	264,660						
事業外損益	3,695,348						
経常利益	16,884,474						
IV 特別損益							
1.特別利益	136,840						
2.特別損失	66,000						
特別損益	70,840						
税引前当期利益	16,955,314						
法人税、住民税及び事業税額	6,500,000						
当期剰余金	10,455,314						
前期繰越剰余金 ※1	5,827,712						
目的積立金取崩額	0						
当期末処分剰余金	16,283,026						

令和2年度 剰余金処分案 (単位:円)			
科 目	内 訳	小 計	合 計
I 当期末処分剰余金			16,283,026
II 剰余金処分額			10,000,000
1.法定準備金 ※2		4,500,000	
2.任意積立金 ※3		5,500,000	
III 次期繰越剰余金 ※4			6,283,026

※1. 前期繰越剰余金のうち、教育情報資金は、1,000,000円であった。
※2. 法定準備金は当期剰余金の5分の1以上である。
※3. 任意積立金のうち、目的積立金は現在ありません。
※4. 次期繰越剰余金中、教育情報資金は、1,000,000円である。

第24回通常総代会提出議案

- | | |
|---------|--|
| *第1号議案 | 令和2年度事業報告、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び附属明細書の承認について |
| *第2号議案 | 令和3年度事業計画の設定について |
| *第3号議案 | 令和3年度役員報酬の決定について |
| *第4号議案 | 令和3年度森林保険調査事務手数料の決定について |
| *第5号議案 | 令和3年度における借入金の最高限度額の決定について |
| *第6号議案 | 令和3年度における貸付金の利率並びに一組合員に対する貸付金額の最高限度額の決定について |
| *第7号議案 | 令和3年度における余裕金預け入れ先金融機関の決定について |
| *第8号議案 | カルスト森林組合同定款の一部改正について |
| *第9号議案 | 定款附属書役員選任規程の一部改正について |
| *第10号議案 | 定款附属書総代選挙規程の一部改正について |
| *付帯決議 | 総代会の議決事項中、行政庁に提出する書類が、当該行政庁の指示に基づき補正変更を要する場合は、議決の主旨に反しない範囲において字句の修正等の補正変更を理事会に一任する |

第24回

通常総代会開催！

第24回通常総代会を令和3年8月20日(金)・午後1時30分よりサンワーク美祢(美祢勤労者総合福祉センター)で開催した。

出席者数は総代定数200名、現総代数196名中、本人出席41名、委任出席0名、書面議決118名、計159名で、出席率81%であった。

議長には宇部市の野村文雄氏を満場一致で選任し、第1号議案から第10号議案、付帯決議まで挙手多数で可決・承認され、議案の審議を終了した。

ごあいさつ



組合長
高須修三

菊花開く好時節を迎え、組合員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素から組合運営各般にわたり格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

先ずは、過日(8月20日)行われました第24回通常総代会の報告を申し上げます。コロナ禍のため、総代の皆様に新型コロナウイルス感染拡大防止策の徹底とあらかじめ書面による議決権行使をお願い申し上げ、書面議決書多数と本人出席を合わせまして、159名の出席を頂きました。当該事業年度の報告では、当初計画を上回り、剰余金を計上することが出来たことを報告申し上げ、提出議案全てを承認頂きました。これも偏に組合員の皆様のお陰だと、感謝申し上げます。

さて、最近の林業のひとつの方向性と言え、地球温暖化防止対策かもしれません。昨今の天候不順は異常気象と呼ばれ、各地で甚大な被害を及ぼしています。国民が森林に期待する働きは、「災害防止」「温暖化防止」「水資源の涵養」などが上位にあげられています。しかし最近では「木材生産機能」が再び注目されるようになりました。森林の多面的機能は、一部の貨幣評価できるものだけでも年間70兆円とも言われています。一方で、林業を担うであろう山村の面積は日本の林野面積の6割を占めますが、山村集落の機能を支える人口は全人口の3%しかない状況だそうです。カルスト森林組合管内の林野率は62%、川上側から美祢市(73%)・宇部市(52%)・山陽小野田市

(46%)となります。当管内も然りですが、山村の多くは、過疎化・高齢化が進み、就業人口も減少している状況にあり、林業の担い手不足は慢性的と言えるでしょう。日本の森林の特徴として、適切な手入れをしなければ環境維持が出来ません。森林を守るためには数多くの作業が必要ため手入れがままならないなど、様々な理由から森林資源の充実期を迎えているにもかかわらず、森林は荒廃傾向にあるといえます。森林の機能の維持に最も重要なことは担い手です。人材育成については有効な手立てを講じることが出来ていませんが、現場においては「伐る・使う・植える・育てる」を確実に言い、持続可能な経営(循環利用)を図ることが森林機能の維持に繋がると考えています。

当組合におきましては森林整備に係る様々な課題を克服するため、に、「リモートセンシング技術活用実証実施」の補助金を利用し、自立飛行可能な無人航空機「ドローン」を導入いたしました。リモートセンシング技術の「ドローン」やICTの活用は、森林資源調査や生産管理、また簡易測量にも有効であり、延いては木材生産の高効率化が期待されます。また、森林所有者の高齢化が進み、現地の把握も難しくなりつつありますが、上空からの映像など、直近の情報が提供出来ることから、組合員サービスにつながると考えています。

私たちの暮らしに欠かせない林業ですが、担い手の不足は深刻です。林業をより身近に感じていただくために、「取っ付きやすい林業」「親しみやすい林業」として、豊富な地域資源を椎茸原木・薪炭材や木質バイオマス材などの生産や地域内で活用していただくことを提案します。これらは副業的発想ではありますが、林業従事者人口の裾野を拡げたいと考えています。現在の林業は、林業関係者だけの問題ではなくなっています。これからも新しい林業モデルの構築に努めて参りますので、組合員の皆様には、引き続きご支援、ご協力をお願い申し上げます。

話題の人



▲田邊厚實さん

今回、表紙を飾った写真は、宇部市在住の田邊厚實さんが育てた山林です。

植林から下刈り・枝打ち・間伐など全てを手掛け、山を育ててこられた田邊さんは、今年6月、全国林業経営推奨行事※1で林野庁長官賞を受賞されました。

田邊さんは長年、林業に携わり、山を育てることにご尽力されています。そして、山に対して常に真摯に接してこられました。そのことが今回の受賞に繋がったのだと思います。

受賞について「まさか賞をもらえるとは思っていなかった。自分がやろうと思ったことに対して、周りに影響されず信念をもってやってきたので賞がもらえたのかもしれない」と話されていました。今後についても「賞をもらったからと言って何かが変わるわけではない。今まで通りやっていく」とのことです。

木の成長を見るのが非常に楽しいと仰っていた田邊さん。今後の活躍にも期待しています。



作業中の田邊さん

（※1）公益社団法人大日本山林会主催。森林の適正な管理並びに林業の技術・経営の改善に努め、森林の有する多面的機能の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展に寄与している森林の管理経営体を表彰するもの。

組合員の名義変更をお願いします。

組合員資格に係る届出のお願い

- ① 死亡による相続
- ② 譲渡
- ③ 記載事項(住所等)の変更

上記に該当する変更が生じた場合、組合員資格に係る届出が必要となりますので、該当される方はお早めに所定の手続きをお願いいたします。なお、手続き(届出)の詳細につきましては、本所・総務課までお問い合わせください。

木材市況表

県森連山口共販所/第934回
令和3年9月10日
(※単位:円/1㎡当たり)

樹種	長さ	径級	中値
杉	4m	14~16	14,000
		18~22	17,000
		24~28	16,000
		30上	14,500
杉	3m	14~16	18,000
		18~22	18,000
		24上	14,500
		30上	—
桧	4m	14~16	34,000
		18~22	31,000
		24~28	29,000
		30上	—
桧	3m	13	—
		14~18	35,000
		20~22	31,000
		24上	25,000

スマート林業を目指した取り組みについて

地理空間情報やICT等の先端技術を活用し、安全で働きやすく、効率的な森林施業や需要に応じた木材の安定供給を実現することを目指し、様々な活動に取り組んでいます。また、さらなる労働力不足が懸念される中で、生産性を向上させるとともに、林業を魅力ある職場とし、担い手の確保・育成にも取り組んでいます。

ドローンの活用

- 上空からの測量や現場管理が可能になり、詳しい森林情報が得られることから施業提案や森林の災害調査等にも活用することができ、作業時間の短縮が可能となります。また、デジタルデータによるデータの共有や視覚化により、関係者間での理解を深めることに役立ちます。



◀ドローン研修の様子

GNSS測量

- 以前より測量に係る人件費を大幅に軽減することができ、座標（緯度・経度）を記録することで、より正確な位置を得ることが可能となりました。



デジタル化



GNSS(Global Navigation Satellite System)測量とは?

人工衛星を使用した測位技術。衛星の位置と観測地点までの距離から位置座標を計算し、ミリ単位の精度が必要な現況測量に向いている。

若い力を育てています!

山口県では、林業への就業を希望する方を対象に「林業即戦力短期育成塾」の研修をし、木材生産に必要な資格や技能を習得してもらい、即戦力となる技能者の育成に取り組んでいます。カルスト森林組合も積極的に技能研修に協力し、担い手の育成に努めています。

研修の様子▶



7月1日付で機構の人事配置に変更がありましたのでお知らせいたします。

編集後記

2021 vol.44 (年2回発行)

めっきり涼しくなり、吹く風にも秋色の濃さを感じる時節となりました。

今号は、第24回通常総代会の記事・決算報告を中心にお届けしました。組合では、将来を見据え、従来の育林技術を引き継ぐと同時に、新しい技術もどんどん取り入れていこうとしているところです。

何かと不便の多い今日ですが、皆様が健やかにお過ごしになられますようお願い申し上げます。

美秋林業まつり中止のお知らせ

今年の美秋林業まつりは新型コロナウイルスの感染が拡大している状況を鑑み、開催を中止することといたしました。何とぞご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

退職 お世話になりました。



カルスト森林組合

〒759-2212 山口県美祢市大嶺町東分418番1
TEL.0837-52-3332 / FAX.0837-52-2587